

問 1. 鼻腔の上皮で正しいのはどれか。

1. 重層扁平上皮
2. 立方上皮
3. 単層円柱上皮
4. 多列線毛上皮

問 2. 副鼻腔を構成する骨で誤りはどれか。

1. 前頭骨
2. 側頭骨
3. 上顎骨
4. 蝶形骨

問 3. 耳管が開口するのはどれか。

1. 鼻腔
2. 口腔
3. 咽頭
4. 喉頭

問 4. 正しいのはどれか。

1. キーゼルバツハ部位は鼻出血の好発部位である。
2. 前頭骨洞は下鼻道に開口する。
3. 嗅上皮は鼻腔の下部にある。
4. 下鼻甲介は鼻中隔を形成する。

問 5. 喉頭隆起を形成するのはどれか。

1. 輪状軟骨
2. 喉頭蓋軟骨
3. 披裂軟骨
4. 甲状軟骨

問 6. 弾性軟骨により形成されるのはどれか。

1. 甲状軟骨
2. 披裂軟骨
3. 喉頭蓋軟骨
4. 輪状軟骨

問 7. 声帯筋を支配する神経はどれか。

1. 舌咽神経
2. 鼓索神経
3. 反回神経
4. 舌下神経

問 8. 気管が左右の気管支に分岐する高さはどれか。

1. 第 7 頸椎～第 1 胸椎
2. 第 2～3 胸椎
3. 第 4～5 胸椎
4. 第 7～8 胸椎

問 9. 気管について正しいのはどれか。

1. 気管後方には平滑筋が存在する。
2. 気管軟骨は全周を覆う。
3. 気管軟骨は弾性軟骨により構成される。
4. 重層扁平上皮である。

問 10. 肺胞について正しいのはどれか。

1. 平滑筋が周囲を覆う。
2. 肺胞壁は I 型肺胞上皮細胞に覆われる。
3. 肺胞周囲は細動脈に覆われる。
4. II 型肺胞上皮細胞は免疫に働く。

問 11. 縦隔内に存在しないのはどれか。

1. 肺
2. 横隔神経
3. 交感神経幹
4. 食道

問 12. 吸息筋でないのはどれか。

1. 外肋間筋
2. 胸鎖乳突筋
3. 内肋間筋
4. 横隔膜

問 13. 死腔量の説明で正しいのはどれか。

1. 安静呼吸の上に、さらに吸い込める最大吸気量
2. 予備呼気量と残気量の和
3. 鼻腔から肺までのうち、ガス交換を行わない部分
4. 最大呼気後に、肺内に残っている気体容量

問 14. 正しいのはどれか。

1. 肺は右が 3 葉で左が 2 葉である。
2. 肺の栄養血管は肺動脈である。
3. 左気管支は垂直に近い走行する。
4. 胸部では気管は食道の後方に位置する。

問 15. 肺胞内面へ分泌される表面活性剤で正しいのはどれか。

1. 肺胞の表面積を少なくする。
2. 気道抵抗を増大させる。
3. 表面張力を減少させる。
4. 肺胞をふくらみにくくする。

問 16. 血中酸素分圧の低下を感受するのはどれか。

1. 大動脈体
2. 頸動脈洞
3. 大動脈弓
4. ヒス束

問 17. 全肺容積で正しいのはどれか。

1. 予備呼気量+1回換気量+予備吸気量
2. 肺胞換気量+死腔量
3. 肺活量+残気量
4. 予備呼気量+残気量

問 18. 安静時呼息にみられるのはどれか。

1. 横隔膜の収縮
2. 胸膜腔内圧の減少
3. 胸郭の拡大
4. 肺胞内圧の陽圧化

問 19. 1秒率を示すのはどれか。

1.  $\text{努力肺活量} \div 1 \text{秒量} \times 100$
2.  $\text{努力肺活量} \div \text{一回換気量} \times 100$
3.  $\text{一回換気量} \div \text{努力肺活量} \times 100$
4.  $1 \text{秒量} \div \text{努力肺活量} \times 100$

問 20. 呼吸の調節で誤っているのはどれか。

1. 延髄は円滑な呼吸周期の調節に参与する。
2. 横隔膜は自動能を持たない。
3. 肺の伸展受容器から舌咽神経を介して求心性にインパルスが伝えられる。
4. 吸息ニューロンの活動が抑制されると呼息が生じる。

問 21. 気管支で正しいのはどれか。

1. 主気管支は肺門の先で葉気管支に分岐する。
2. 右主気管支は左よりも細い。
3. 喉頭隆起の高さで気管から分岐する。
4. 左主気管支には右よりも異物が混入しやすい。

問 22. 死腔量の増大によって減少するのはどれか。

1. 1回換気量
2. 機能的残気量
3. 肺胞換気量
4. 予備吸気量

問 23. ヘーリングブロイエル反射を生じさせるのはどれか。

1. 吸息による肺の伸展
2. 血中二酸化炭素分圧の上昇
3. 血中酸素分圧の低下
4. 呼息による肺の縮小

問 24. 肺について正しいのはどれか。

1. 栄養血管は肺動脈が分布する。
2. 左肺では10本の区域気管支が分岐している。
3. 右肺には水平裂がある。
4. 右肺は2葉に分かれる。

問 25. 動脈血中の酸素分圧低下を感受する受容器が存在する部位で最も正しいのはどれか。

1. 延髄
2. 大動脈弓近傍
3. 心房
4. 頸動脈洞

解答はコチラ

